

KURUMI

- 女性の文化を構築していく建築物 -

社会システム工学科 1110385 橋口理沙

1.

今回私は、女性対象の建築物を設計することにした。なぜなら、今回の作品は私自身を、私の将来をテーマにした建築物を作ってみたかったからである。

私はこの大学生活4年間で、今までとは異なる自分を見つけることができた。そして大学に入学するまで、出会う事の無かった人々と出会うことも、今まで体験してこなかったことも体験できたと思っている。

私にとって、大学4年間は、自分という人間を善くも悪くも再認識させられた場所であった。

大学生活を締めくくる『研究テーマ』では、私自身を建築に反映させてみたかった。今まで学んで来た建築で、私を表現し

2. 女性限定サロン『KURUMI』計画

今回の建築物は、『女性がくつろげるリラクゼーションスペースと、ネイルサロン、ジュエリーショップが併設されている複合型施設』の形をとっている。女性限定のサロンと設定したのは、女性同士おしゃべりしたり、おしゃれに挑戦したり、リラックス出来る空間で、女性が自分へのご褒美感覚で来店する様な特別な場所。そんな建築物にしてみたかったからである。更に、私が今まで高知で生活してきて、高知にそんな場所があまり無かったためというのも理由の一つである。また、ネイルサロン、ジュエリーショップを併設したのは、将来私がネイル関係の仕事に就きたいと考えているため、私がネイルサロンを開いた時を想定して、理想のお店を設計したかったからである。ジュエリーショップは、私がアクセサリーが好きで、常に身につけているし、自分の建築物で、綺麗なジュエリーを扱ってみたかったからである。

3. 選定場所と現況

3-1 選定場所

建築場所として、宇佐町宇佐にある『宇佐しおかぜ公園』の隣に位置する空き地を利用することにした。

海に面したこの公園は、宇佐港が近くにある。



3-2 敷地の現況



〔現況写真〕

敷地からは、高知の美しい海と山と空が見渡せる。〔現況写真〕の風景は、実際の、建築予定地の空き地から撮った風景だ。この空き地の隣にある『宇佐しおかぜ公園』は天気のいい日の休日は公園の北側にある堤防に釣り人が集まる。海が宝石の様に輝き、時々宇佐港から出航していた漁船が、宇佐港へ戻る姿や、ヨットが帆を揚げて進んで行くのも垣間見える。ゆっくりとした時間が流れる良い公園である。私は以前からこの『宇佐しおかぜ公園』が大好きだった。今回の建築物からも、この風景が眺められる設計にしたが、サロンを利用する前やその後に、女性達にこの公園を散歩してもらったり、堤防からは海の波や潮風を感じる事ができるので、海が存在をより近くで感じてもらい、心と体をリラックスしてもらいたかったため、この場所に決めた。

4. コンセプト

女性達にとって、普段感じる事が無い様な、ここに来なければ体験できない様な場所にしたかったため、「異空間」をコンセプトに設計をおこなった。

これは「異空間」を意識することにより、まわりとは異なる建築で、女性達に驚きと新鮮さを与えたかったためである。

また、外観と内観を対照的なデザインにしたかった。外で見た時の最初の印象と、中に入った時の印のギャップを楽しんでもらいたかったためである。

風景も美しく、解放感を感じられ、開かれたこの空き地の空間を、より私らしく、より、特別な空間になる様な演出と建築創りをしていくことにした。

KURUMI

- 女性の文化を構築していく建築物 -

5. 平面図と断面図

